

可児市文化創造センター

可児市福祉センター

第1分科会

子育て・保育を語ろう

大竹 幸子 (元保育士)

第2分科会

「楽しい学校」どこへいった？

思う存分しゃべっちゃおう！

藤下 真樹子 (教育相談員)

長谷川 督翁 (教員)

第3分科会

自分も友だちもだいすき

発達障がいを持つ子どもたち・青年の未来

土岐 邦彦 (岐阜大学)

第4分科会 不登校

子ども・若者の

生きづらさを考える

家庭・学校・居場所・仲間

可知井 大三 (元教員)

第5分科会 ひきこもり

若者の生きづらさを考える

家庭・学校・居場所・仲間

中川 健史 (工房ポポロ)

第17分科会

原発ゼロをめざして

3・11から4年

新村 昌治 (岐阜大学)

第19分科会(午前・午後)

子どもたち集まれ

作って遊ぼう

(可茂教員08チーム)

第20分科会(午前・午後)

子どもたち集まれ

体を動かして遊ぼう

(西濃子ども広場)

第21分科会 見学分科会 定員40人

川辺地下壕跡と中国人殉難者の碑

鈴木 佳子 (川辺新婦人)

☆事前申し込み必要 (バス代300円)

分科会の

内容

助言者

5/24(日)

10時～12時15分

○バザーありません。
○託児は事前に大会実行委員会事務局まで申し込みを(一歳児から・当日受付も可)
○昼食弁当券500円(お茶は別売り)を販売します。
○全体会は文化創造センター大劇場にて開催。手話通訳がつきます。
○駐車場あります。係の指示に従って駐車してください。

母親大会 って？

1954年(昭和29年)アメリカがビキニ環礁で行った水爆実験で、まぐろ漁船「第5福竜丸」が被爆し、久保山愛吉さんが亡くなりました。広島・長崎と三度被爆を体験した日本の母親たちが「核戦争から子どもを守ろう」と、世界の女性たちに呼びかけて世界母親大会がスイスで開かれました。以来、日本では毎年母親大会を開き続けています。

母親大会は、だれでも自由に参加できる、学びと話し合いの場です。男性の参加も年々増えています。

みなさん、さそいあってご参加ください。

第6分科会

障がいの生活を豊かにするために
障がいの人の人権、住みやすい町、
「障がい者総合支援法」

横光 廣恵(きょうされん)

第7分科会

だれもが安心して暮らせるまちづくり
買い物難民、高齢化、過疎化、公共交通

海道 清信(名城大学)

第8分科会

どうなるの 私たちの暮らし

年金・消費税増税・非正規雇用・生活保護

澤村 明(全厚生)

第9分科会

どうなるの 私たちのいのち

医療・介護の改悪

斉藤 啓治(ひなたぼっこ)

第10分科会

女性が輝ける社会を

林 真由美(弁護士)

第11分科会

トーク&ミニコンサート

若者しゃべり場

～就活・恋愛・結婚・平和～

大野 弦(おといろアイランド)

波多野 純子(青年ユニオン)

第12分科会

TPP だれのため 何のため？

農業・医療・食の安全はどうなる

安部 淳(食健連)

中島 新吾(農民連)

第13分科会

リニア問題を考える

人体・環境・暮らしの影響は

庄司 善哉

(リニアを考える岐阜県民ネットワーク)

第14分科会 シンポジウム

マスメディアの役割と責任

知る権利と表現、報道の自由

高野 春廣(東海学園大学)

岩田 多加子(秘密保護法撤廃女性の会)

山内 沙絵子(弁護士)

第15分科会

日本国憲法は世界の宝

～9条をノーベル平和賞に～

戦後70年の歩みを振り返り

「戦争しない国」を 近藤 真(岐阜大学)

第16分科会

核兵器のない世界を

2015年NPTに参加して

加納 義久(平和委員会)

第18分科会 定員30人

いつまでも元気に暮らす

脳いきいき体験

中尾 恵美子(西濃医療生協)